

ただいま 工事現場から



No.16

令和5年10月26日

志榛地区新構想高等学校新館増築他工事(地業～基礎)



柱状改良(8月上旬)



根切り(8月中旬)



鉄筋組立(9月上旬)



基礎完成(9月中旬)

現在の工事進捗率

35% (9月末時点)

天気に左右されながらも
事故無く工事が進んでいます！

安全第一



地業

基礎

鉄骨

外装

内装

外構

現場概要

- 工事名 志榛地区新構想高等学校新館増築他工事
- 設計 株式会社白柳一級建築設計事務所
- 施工 平井工業株式会社(建築)
株式会社暁電工(電気)
株式会社富山冷熱工業(機械)
- 工期 令和4年12月～令和6年2月



完成予想パース

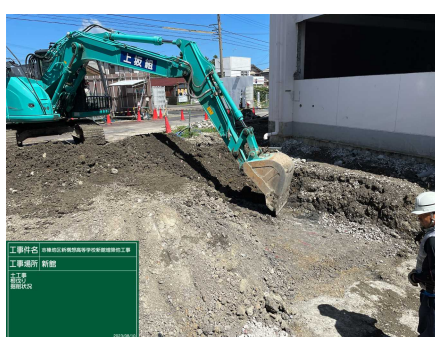
～現在の工事状況～

8月上旬から、柱状改良を行い、その後、根切り工事、捨てコンを打設し、基礎となる鉄筋の組立、検査を行い、コンクリートを打設し、**建物の基礎が完成**しました。
今後は建物の骨格となる鉄骨の組立作業に移っていきます。



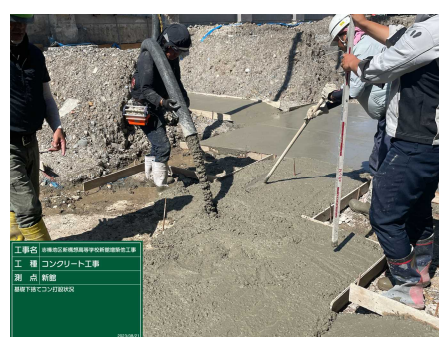
柱状改良

建物を安定させるため、基礎の下の軟弱な土にセメントを混ぜ、円柱状に固めて地盤を強くします。



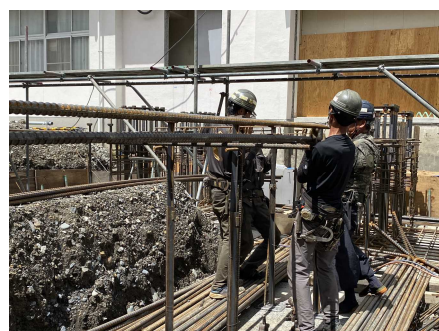
根切り

基礎を作るため、所用の深さまで土を掘り出します。なお、基礎工事終了後に土を戻すことを「埋め戻し」と言います。



捨てコン打設

地盤の高さ調整や基礎の位置を示す線を引く(墨出し)ため、地盤の上にコンクリートを薄く敷きならします。なお、捨てコンとは、「捨てコンクリート」の略です。



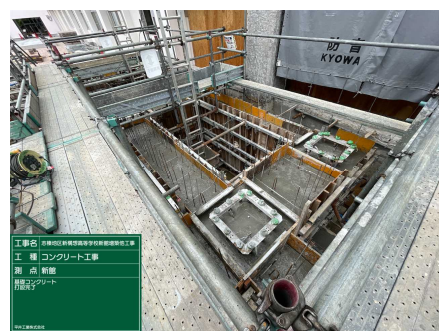
基礎鉄筋組立

建物を支える基礎のコンクリートが壊れないように、鉄の棒(鉄筋)を組み合わせて補強します。鉄筋同士の間隔や傾きに注意しながら組んでいきます。



鉄筋検査

組み立てた鉄筋が、設計図どおりの太さや本数になっているか確認します。なお、鉄筋をつなぐために溶接した部分は専用の機器で検査します。



基礎コンクリート打設

鉄筋の周りにコンクリートを押さえる型枠を設置し、コンクリートを流し込みます。コンクリートが固まり、型枠を外したら基礎の完成です。

現場を担当する県の職員の意気込み

初めまして、建築工事課の山下です。本工事では、金谷高校の既存校舎を活用し、新しい学校の校舎として改修する計画となっています。現在も金谷高校の3年生が校舎を使用しながらの工事となりますので、安全に配慮して工事を進めていきます！



イメージ図
(山下作)

担当監督員
建築工事課 技師 山下 優希乃

建築管理局公式インスタグラム

建築管理局の公式インスタグラムでは、県有建築物の工事現場の様子や県有建築物の紹介、職場の紹介など様々な情報を公開しています。静岡県の公共建築に興味のある方は必見です♪
静岡県 # 公共建築
電気設備 # 機械設備



↑ 過去の投稿



↑ 学校紹介動画